

< その他、取組に特徴のある事例 >

高齢化がすすむ集落での農業生産活動等の維持

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 <small>てしおぐんえんべつちよう</small> 天塩郡 <small>えんべつ</small> 遠別町 遠別			
協 定 面 積 272.6ha	田 (54.3%) 水稻	畑 (0%)	草地 (45.7%) 牧草	採草放牧地 (0%)
交 付 金 額 1,247万円	個人配分			42.6%
	共同取組活動 (100%)	集落の各担当者の活動に関する経費 農業生産活動に対する経費 農業生産活動等の体制整備に対する経費 会議・事務経費等		0% 57.4% 0% 0%
協 定 参 加 者	農業者132人、農業生産法人8法人			

2. 取組に至る経緯

農業生産については、水稻が町の基幹作物としての地位を維持しているが、米の生産調整の強化に伴って混合経営から酪農・肉牛等の専門化が推進され、米から飼料作物への転換が進み、畜産物の粗生産額が稲作部門を追い越すまでになっている。

農業経営者については、60歳を超えている農業者が4割弱となっており、減少に加え高齢化が進んでいる状況にあり高齢化が進む中、耕作放棄地の解消と発生を防止し、将来にわたって持続的な農業生産活動を可能とすることにより、本集落の持つ多面的機能の確保を図るために取り組むこととした。

3. 取組の内容

【現在実施している取組】

農地法面の点検、水路・農道等の清掃、集落内集会所周辺環境整備、生産性・収益の向上、担い手の育成、堆肥投入の推進

【今後検討している活動】

- ・鳥獣害対策（エゾシカ侵入防止対策）



水路管理(溝路清掃)



航空防除の準備作業

[集落の将来像]

担い手の確保・育成はもとより、家畜糞尿等から製造される堆肥の投入による土づくりを行う等、耕畜連携による地域循環型農業への転換により生産性の高い産地づくりを推進するとともに、優良農地の保全・生産基盤の整備・農地の流動化を推進し、限られた農地を有効活用することにより収益性の高い農業経営の確立を目指す。また、集落環境、生産環境の整備をすすめ、クリーン農業の確立を図る。



[将来像を実現するための活動目標]

- (1) 担い手の育成 新規就農者の確保・育成 担い手への農用地利用集積。
 (2) 収益性の高い農業経営の確立 良質な農産物の生産 地域循環型農業の推進(堆きゅう肥の施肥)
 (3) 集落環境・生産環境の整備 農道・水路の適正な維持管理 集落の景観美化により農村のイメージアップ

[活 動 内 容]

農業生産活動等	多面的機能増進活動	その他の活動						
<table border="1"> <tr> <td>農地の耕作・管理 (272.6ha)</td> </tr> <tr> <td>個別対応</td> </tr> </table>	農地の耕作・管理 (272.6ha)	個別対応	<table border="1"> <tr> <td>堆きゅう肥の施肥 (H19 39.8ha 1,194t)</td> </tr> <tr> <td>個別対応</td> </tr> </table>	堆きゅう肥の施肥 (H19 39.8ha 1,194t)	個別対応	<table border="1"> <tr> <td>新規就農者の確保・育成 (現況0名 目標2名 H19実績1名)</td> </tr> <tr> <td>個別対応</td> </tr> </table>	新規就農者の確保・育成 (現況0名 目標2名 H19実績1名)	個別対応
農地の耕作・管理 (272.6ha)								
個別対応								
堆きゅう肥の施肥 (H19 39.8ha 1,194t)								
個別対応								
新規就農者の確保・育成 (現況0名 目標2名 H19実績1名)								
個別対応								
<table border="1"> <tr> <td>水路の管理(清掃、草刈り) (26.9km、年2回)</td> </tr> <tr> <td>共同取組活動</td> </tr> </table>	水路の管理(清掃、草刈り) (26.9km、年2回)	共同取組活動	<table border="1"> <tr> <td>集会所等周辺の環境美化 (花壇整備 12ヶ所)</td> </tr> <tr> <td>共同取組活動</td> </tr> </table>	集会所等周辺の環境美化 (花壇整備 12ヶ所)	共同取組活動	<table border="1"> <tr> <td>担い手への農用地利用集積 (現況845ha 目標880ha H19実績985ha)</td> </tr> <tr> <td>共同取組活動</td> </tr> </table>	担い手への農用地利用集積 (現況845ha 目標880ha H19実績985ha)	共同取組活動
水路の管理(清掃、草刈り) (26.9km、年2回)								
共同取組活動								
集会所等周辺の環境美化 (花壇整備 12ヶ所)								
共同取組活動								
担い手への農用地利用集積 (現況845ha 目標880ha H19実績985ha)								
共同取組活動								
<table border="1"> <tr> <td>農地法面の定期的な点検 (随 時)</td> </tr> <tr> <td>個別対応</td> </tr> </table>	農地法面の定期的な点検 (随 時)	個別対応	<table border="1"> <tr> <td>生産性・収益の向上(水稻航空防除、乳質改善、肉牛防疫、共同牧場の管理)</td> </tr> <tr> <td>共同取組活動</td> </tr> </table>		生産性・収益の向上(水稻航空防除、乳質改善、肉牛防疫、共同牧場の管理)	共同取組活動		
農地法面の定期的な点検 (随 時)								
個別対応								
生産性・収益の向上(水稻航空防除、乳質改善、肉牛防疫、共同牧場の管理)								
共同取組活動								
	<table border="1"> <tr> <td>良質な農産物の生産 (水稻 468kg/10a 480kg/10a、麦 286kg/10a 420kg/10a、牧草 3,520kg 4,600kg、乳量7,947kg/頭 8,200kg/頭、他5作物)</td> </tr> <tr> <td>個別対応</td> </tr> </table>		良質な農産物の生産 (水稻 468kg/10a 480kg/10a、麦 286kg/10a 420kg/10a、牧草 3,520kg 4,600kg、乳量7,947kg/頭 8,200kg/頭、他5作物)	個別対応				
良質な農産物の生産 (水稻 468kg/10a 480kg/10a、麦 286kg/10a 420kg/10a、牧草 3,520kg 4,600kg、乳量7,947kg/頭 8,200kg/頭、他5作物)								
個別対応								

4 . 取組による変化と今後の課題等

- ・ 高齢化が進む中、離農者も多くなってきているが、担い手農家による耕作地の規模拡大により耕作放棄地をつくることなく農地が保全されている。また病害虫防除や畜産自衛防疫等共同作業にそれぞれ全農家が取り組むことにより農畜産物の品質の安定が図られるようになってきている。
- ・ 今後の課題としては、エゾシカ等の被害が大きい農地での侵入防止柵等の設置に取り組み、耕作放棄地の発生を防ぐことが必要である。

[平成20年までの主な成果]

米の病害虫の防除(当初468kg/10a 目標480kg/10a、H19実績534kg/10a)
 畜産自衛防疫(乳量 当初7,947kg/頭 目標8,200kg/頭 H19実績8,300t/頭)
 集会所花壇の整備(花壇整備 当初12箇所 目標12箇所 H19実績12ヶ所)